

ビワ生育情報

第 2 報
千葉県農林水産部
令和 6 年 1 1 月号

着花房率は 3 品種ともに平年よりも高くなっています。花房の充実を図るためには、摘房による花房数の調整が重要です。

樹及び花房の発育

着花房率を表 1 に示した。本年の着花房率を品種別にみると、「楠」が 94.9%、「大房」が 88.0%、「田中」が 92.0%で、3 品種ともに平年よりも高かった。着花房率が高いため、摘房による花房数の調整が重要である。花房の着生は、副梢にはやや少ないが、中心枝及び果痕枝には多い。1 つの花房に着生する花数は平年並みである。

本年の日照時間は 7 月～9 月にかけて平年より多く、樹の生育は順調である。花房発現期は 3 品種ともに平年より遅く、樹の中でもばらつきが大きい傾向がみられる。10 月は平均気温が高く推移したため、11 月 1 日時点で花房の発育はやや早い。「楠」及び「田中」は開花が始まっている。今後の気象にも影響を受けるが、現時点では開花の進みは平年並みと思われる。

表 1 着花房率(暖地園芸研究所)

品種	本年 (%)	平年 (%)	前年 (%)
楠	94.9	85.7	93.6
大房	88.0	81.9	89.4
田中	92.0	77.9	92.4

平年：1994 年～2023 年の 30 年間の平均

着花房率：花房数 / 1 年生枝数 × 100

令和 6 年 10 月の気象

令和 6 年 10 月の半旬別の気象を表 1 に示した。平均気温は全半旬で平年より高く推移した。月平均気温は 21.4℃で平年より 2.7℃高く、前年より 2.5℃高かった。

降水量は第 1、第 4、第 6 半旬は平年より多く、第 2 半旬は平年並み、第 3、第 5 半旬は平年より少なかった。月合計は 224mm で、平年の 88%、前年の 112%であった。

日照時間は第 1、第 3 半旬で平年より多く、その他の半旬は平年より少なかった。月合計は 128 時間で、平年の 93%、前年の 63%であった。

表 2 令和 6 年 1 0 月の気象(アメダス館山市)

半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	24.9	20.8	23.1	61	45	57	27	21	24
2	21.2	20.0	18.9	46	47	38	17	21	21
3	20.2	19.2	18.0	2	43	105	43	22	28
4	22.0	18.2	20.1	57	41	0	13	22	42
5	21.4	17.3	16.8	3	40	0	20	23	40
6	18.5	16.5	16.6	56	40	0	10	29	49
平均/計	21.4	18.7	18.9	224	255	200	128	138	202

※ 各気象データについては暖地園芸研究所内の観測機材が不調のため、アメダスデータ(館山市)を引用。表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

12月の作業

気温が低下すると、ビワの枝葉や根の伸長はほとんど停止するが、開花は続き、幼果は少しずつ肥大する。12月は寒害防止の準備を行い、また、来春に向けて、苗木の植え付け準備にとりかかる。

防寒の準備

開花期は品種や花房ごとにばらつきが激しい。開花の早い花房は遅い花房に比べ、幼果が冬期の低温に遭遇する可能性が高まる。早い花房を残す場合には、寒害に充分留意する。毎年1～2月に寒波が襲来しているため、年内から防寒の準備を始める。

幼木の防寒法としては、こもがけあるいは枝を結束する方法があり、あらかじめ資材を用意しておく。成木園では園内を加温する方法があり、火点設置場所の整備、ヒーター及び燃料の手配をしておく。また、防霜ファンの設置によって、放射冷却現象を緩和させることも有効である。

植え付け(定植)と植え穴の準備

ビワの根の伸長は3月上旬から始まるので、苗の植え付けの適期は2月中下旬頃である。植え穴の準備は年内に済ませておく。改植の場合には、白紋羽病の発病跡地は極力避ける。やむを得ず発病跡地へ植え付ける場合は、フロンサイドSCを使用 방법에従い土壌かん注する。また、前作の根は白紋羽病の発生源になるので、土中に残さず取り除くことが重要である。

新植の場合、苗の植え付け距離は3～3.5mとし、10a当たり80～110本を植え付ける。樹冠の広がりに合わせて間伐を行い、最終的な栽植距離は6～7m、10a当たり20～27本の永久樹を残すようにする。

害虫の発生状況及びカメムシの発生予測

平年と比べ、9月下旬時点でのアブラムシ類の発生は少なく、カミキリムシ類の被害穴はやや少ない。なお、来年のカメムシ類発生量は中発生と見込まれている。詳しくは、農林総合研究センター病害虫防除課の発生予察情報（カメムシ類については令和6年度病害虫発生予報第6号）を参考にする。

(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>)

発行：千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室

電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>